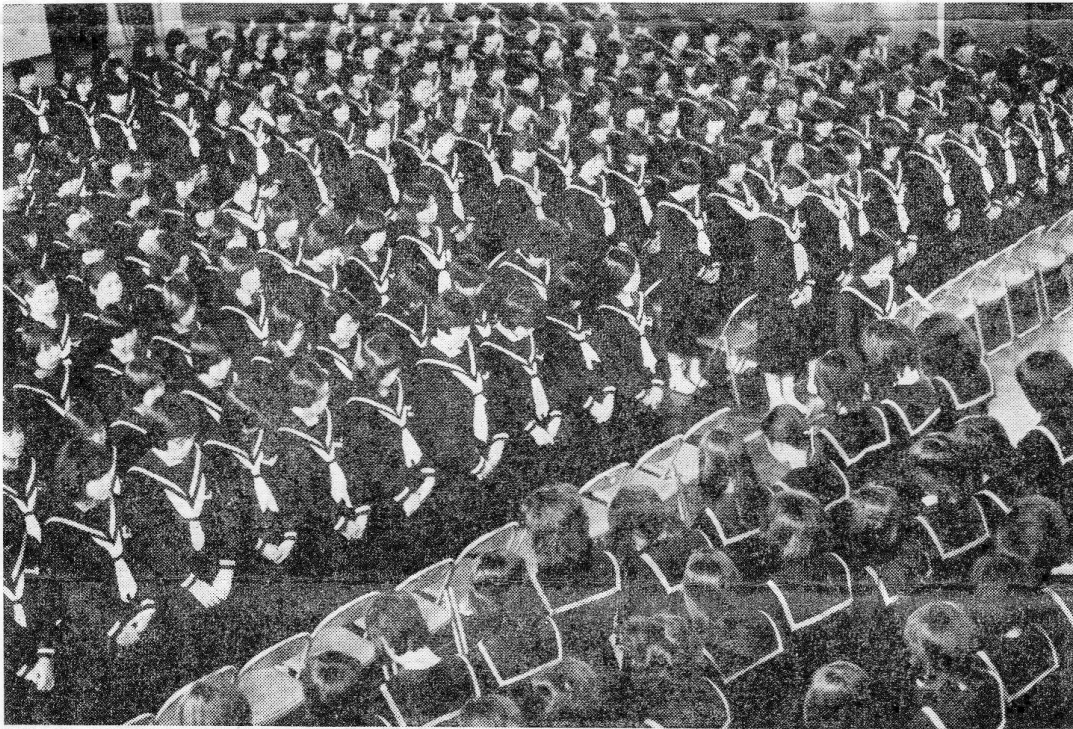


占春会報

第8号

発行 八尾市柏村169-3 八尾市立清友高校
占春会事務局 TEL (0729) 22-2067



昭和52年度卒業式典

いあごん

会長 河合 聿子

卒業生の皆さん。お元気で活躍のことと思います。昨年は郵送

代・諸物価等の値上りで、会報の

発送が出来ませんでした。皆様

のご協力で会費を値上げさせて

いただき、二年ぶりで会報八号を

お手に送れる喜びはこの上も

ありません。五年前から着々と

活動を続けておりました府立移

管の問題も、一歩一歩前進し、

移転場所も信貴山麓の小高い所に

決まりました。いよいよ用地買

収の段階に突入し、後、僅か

残すばかりとなりました。

新設校舎で府立高校の看板を

上げるのも、目前に近づきつ

つある事をお知らせ致します。

私達に残されているのは、『清友』

という伝統ある名称が消され

ないよう、卒業生一同で見守

って行こうではありませんか。

最後に会員相互の心のつながりであるこの会報が、母校の伝統と共に続けて発行出来ますよう、皆様のご協力とご支援を更に、お願いいたします。

★役員紹介

会長 (21年卒) 河合 聿子 (村田)

副会長 (23年卒) 柳 生 和 子 (上田)

副会長 (23年卒) 中 易 敬 子

書記 (20年卒) 松 谷 照 子 (本田)

書記 (20年卒) 寺 島 悦 子 (羽原)

書記 (26年卒) 中 西 明 子 (宮本)

計 (30年卒) 有 川 育 子

計 (30年卒) 前 田 千 恵

理事 (20年卒) 羽 田 敦

理事 (21年卒) 稻 部 恭 子

総会御案内

総会

総会ご案内

新入会員 歓迎 総会御案内

6月5日 (日) 午後1時～3時

● 一部 総 会

校長挨拶

会長挨拶

新入会員挨拶

新役員紹介

決算報告

● 二部 懐しい授業再現

講師 西沢先生

講義内容 『源氏物語』

プリントを用意しております。

校長随想



校長 小西 康 弘

今年桜の開花が例年より少し早かったようで、入学式まではと願っていた玉串川沿いの桜も、残念にもそれまでに散り始めました。今では若々しい緑の葉桜が、美しく川面に映えています。例年桜花満開の頃は、新学暉の始まりということもあり、なにか新しい息吹が感じられます。「年々歳々花相似、歳々年々人不同」私にとり、この詩が自然と浮んでくるのもこの時期です。この一年私達はどのように変わり、成長したのであるうか、人間年をとると情性が身につけてしまっていて、中々充実した生活をするのがむづかしいようです。このままで進歩なく、終わってしまうのは残念な、口惜しいような気が致します。相当の年をとられた方が今尚鑿鑿として活躍しておられるのをテレビ等で見ることがありますが、本当に頭が下ります。「明日ありと思う心のあだ桜、夜半に嵐の吹かぬものは」この親鸞の言葉が、此頃ますます、心に強く響いてくるようです。毎日を充実して生きて行ける

ことの素晴らしさを思い、それへの願望を抱きつつ、せめて今日一日を大切に生きていくことに努めたいと思う今日此頃です。清友高校も創立以来早や三十六年の歴史を数え、人間でいうなら、まさに元氣盛んといったところかと思えます。時あたかも府立移管の話も出て、ますます、いままでの歴史と伝統の上に立って飛躍しなければならぬかと考えます。この機会に府立移管のその状況を申し上げておきます。移管の約束ができて、既に五年の年月が経過し、みなさんも、一体どうなっているのかと、不審の念が強いと思えます。この原因は、移管の条件の一つになっていた、校舎移転に伴う敷地の取得がうまく行かなかったという点にあります。この間用地については、財政問題もからみ紆余曲折、二転、三転いたしました。しかしこのほど、この問題によりやく目途がついたようです。現在移転予定地としては、八尾市千塚(近鉄信貴山線・服部川駅北約七百米)の地点に定まるようです。現校舎より山手の方になります。環境としては、静かな所で、交通の便も比較的良好、良い所ではないかと思われれます。今後の予定としては、今年七、八月頃までに用地の買収を終え、今年度末頃までに校舎の建設にとりかかり、五十四年四月に移転、開校という計画のようです。もし順調に進むならば、市当局として、五十四年一

月にも府立移管をしたいという考えもあるようです。従来から、来年こそは、来年こそはといわれ、説明も受けてきただけに少し不安もあります。どうやら今度こそは、三度目の正直とやらで実現できるのではないかと思っています。既に約六千名になる卒業生の方々が、それぞれの場で活躍され、学校の成長を見守っていて下さるかと思うと、本当に心強く、又責任の重大さも感じる次第です。年々生徒の顔触れは変わって来ますが、清友の今まで築いてきた伝統と精神は大切にしたいと思っています。皆さんにとっての母校がより良い方向で発展していけるよう今後とも微力ながら尽して行きたいと考えています。

(五二・四・十四)



教頭 安 田 圭 造

若葉の季節がやって参りました。占春会の皆様にはお変わりございませんか。学校は今新しい学期を迎えて活気にあふれております。府立移管も実現に向けて着々と進んでおりますが、時期は予定より少し遅れて五十四年になりそうです。次に学校内のことについて

お知らせします。

一、職員の変動について

〔転退職〕

武田 和先生(国語) 府立夕陽丘高校へ御転勤(51年3月)

小阪義三先生(数学) 府立美原高校へ御転勤(52年3月)

小沢(平岡) 真理子先生(数学)

・物理) 御結婚御退職(51年8月)

三島(下野) 志賀子先生(理科実習) 御退職(51年3月)

柏本昌子先生(家庭実習) 御退職(51年10月)

他に非常勤講師の清原恵理子先生(書道)・田中和子先生(英語)は51年3月御退職、入江雅一先生(経済)は52年3月御退職

市立移管以来約二十年間皆さんのお世話をして下さった校務員の石谷石松おじさん・やさしかった事務室の浜野光枝先生も51年3月に御退職されました。

〔新任〕

友清知恵先生(国語) 大阪女子大学卒(51年4月)

福井康夫先生(数学) 信州大学卒(52年4月)

安藤美智子先生(理科実習) 清友高校・金蘭短期大学卒(51年4月) 他に非常勤講師として、伊藤真吉先生(国語)・和泉克明先生(物理)・池田公子先生(英語)・梅本靖代先生(書道)・児玉みえ子先生(国語)

校務員の八田 清さんが着任されました。

一、五十四年度卒業生の進路

卒業生総数 二六六名

就職者数 一四一名

(主な就職先)

住友銀行、富士銀行、三和銀行、三菱銀行、三井銀行、住友信託銀行、八光信用金庫、野村証券、大和証券、富士火災海上、日本生命、住友生命、住友倉庫、久保田鉄工、塩野義製薬、積水化学、松下電器、三洋電機、明電舎、星電器、資生堂、神鋼商事、内田行洋、日本リース、国分商店、大日本インキ、日本商事、近鉄、阪急、大阪教科書販売、近畿配管

(主な進学先)

花園大、四天王寺女子大、大谷女子大、大阪芸大、追手門学院大、梅花女子大、帝塚山短大、四天王寺女子短大、常盤会短大、関西外語短大、成蹊女子短大、大阪キリスト教短大、関西女子短大、夙川学院短大、相愛女子短大、東大阪短大、金蘭会短大、大阪女子学園短大

一、生徒の状況

本年は定員が一学級に一名増え一学級四六名となり、二七六名の生徒が入学し、総数八〇九名となっています。なお、本年入学者の居住地域別人数は八尾市一八〇名、東大阪市七二名、柏原市一八名、大阪市六名となっています。最近清友ののんびりムードにも良い方向への変化の兆があらわれて来ました。風紀面でも締りが見ら

れるようになり、クラブ活動も活発になりはじめました。特にソフトボール部は昨年八月に大阪高校総合体育大会で初優勝をかざりました。

今年の体育大会の予定は9月25日(日)(雨天9月27日(火))文化祭は10月15日(土)16日(日)になっています。是非揃って御来校下さい。

一、その他
杉本純子先生(国語)が五十二年三月に御結婚され松丸純子先生となられました。以上



安田 圭造先生



東 国恵先生

清友に勤めて二十年、白髪は年々増えていきますが、気持は年々若くなっています。

こととして十五年目を迎えました。自分の仕事に一層力を入れて頑張りたい意です。



井上弘之佐先生

無我夢中でやっているうちに10年が過ぎ、一男一女の父となりました。初心忘るべからずノ



内田 幸雄先生

いつの間にか、長女が高三になり進路に悩む年頃になりました。親は蛙で子は、鬼子になっています。



遠藤 光子先生

清友へ来て10年、心のふるさと清友は変わらうとしています。はなれていてもやさしく見まもって。



大江 和子先生

野辺の千草も美しい。花が美しいのではない。私たちが美を感じたのです。春の心は忘れまじと思



大村 健三先生

高校時代をふりかえればやり残したことがあることに気づくでしょう。でも今でもできるのでは?



岡 昌弘先生

今年も又五月二日のなにわ芸術祭に出演しました(サンケイ会館)機会があれば聞きに来て下さい。



奥 武文先生

卒業生のみなさん元気で活躍のことだと思えますがいつまでも若さを失わないで頑張ってください。



金森 保先生

最近の趣味は、温泉で泳ぐ、旅に出る、珍しい料理を食べる、チャンバラ物を寝転んで見ることに。



下津三保子先生

お元気ですか?絵を描いていますか?あっといふ間に時がたちますね。よい話聞かせて下さい。



杉本 英子先生

清友へ来て16年目へと歩みはじめました。まだ勉強不足で日々反省しています。遊びに来て下さい。



相馬 久敬先生

元気で頑張っています。お互い自分目標をみつめて、地道に努力し、前進していきましょう。



田島 勤也先生

今年是一年生を担任することになってはりきっています。皆さんも清友の心を忘れず、御精進下さい。



土井 紘雄先生

お元気ですか、一人娘は来年は小学校です。奈良の家を売り払って大阪へ移り住む準備をしています



徳田 正俊先生

お元気ですか。その後どうしているかなとも思っています。意欲的に計画的にがんばってください



富田 隆文先生

みんな全力で生きていますか?いい人をもう見つけたか?ボクは二人の子を育てながら頑張ってるゾ。



友清 知恵先生

社会人二年目として頑張っています。皆さんもそれぞれの立場で頑張ってください。



仲 慶諭先生

清友に勤務して、早や三年目を迎えました。「朋如兄弟、師如父」の気持ち忘れず頑張っています。



中川 道広先生

元気に頑張っていますか?貧乏な長屋に二階を増築しました。暇な折、お立ち寄りください。



中村 英明先生

大阪へ来て、はや十五年となりすっかり河内弁になじみ就任時のフアイトもなくなりつつあります



中本 料一先生

お元氣にお過しの事と思つて
ます。清友に春が来、新顔で一杯
一度、母校におかえり下さい。



南条 博子先生

皆さんお元氣ですか？私も写真の
様に年をとりましたが元氣です。
今年も校門前の桜、見事でした。



西沢 小枝先生

一別以来、元氣な皆さんに会うこ
とが最高の喜びです。消息の解ら
ない人の事を思うと心が痛みます



畑 昭子先生

みなさん、お元氣ですか。女性が
仕事をもつことは、とても大変で
すが、必要なことだと思います。



畑中 秀夫先生

十三年目、新たな氣持で再出発
と張切っています。人生の旅人よ、
道を確認にきりひらいてますか。



逸民 正剛先生

皆さんお元氣ですか。目下クラ
ブ(ソフト)に熱中しています。朗報
が届けられるようがんばります。



原田 彰先生

清友で20年になります。機械の
ように教えるだけでなく自分の勉
強も忘れたくありません。



樋口 全毅先生

もう一〇年たちました。懸命に
することだけは忘れずにありたい
と思つています。



福井 康夫先生

高校生活を通して得た様々な体験
を生かし、何事にも積極的にアタ
ックする姿勢を忘れないで下さい



藤岡佐紀子先生

皆さま御機嫌うるわしくお過しの
ことと存じます。長男も中三受験
戦争と直面して、此の頃です。



松丸 純子先生

女性はついで、日常生活に埋没して
しまい勝ちですが、常に紳さと夢
を失わず精一杯生きて下さい。



三上いつみ先生

ここに困難という山がある。山
は層れば必ず低くなる。どうして
山を層らずにいられよう。



水島 尚子先生

正門前の桜が満開になると毎年淋
しさと期待が交錯します。この美
しい時期に是非一度ご来校下さい



三觜 博久先生

しっかりやっていますか。体力の
限界を感じるこの頃ですが、益々
はりきっています。



安田 智子先生

考えの拠点である「公」とは何か
私とは何か」から、その意義に触
れられることを願っています。



籤 喜好先生

占春会報が無事皆さんの手元に届
くことを祈っています。改姓・住
所変更など必ずご連絡ください。



山田 邦子先生

新緑の若芽がグングン伸びてい
る季節です。いくつになっても成
長し続ける健康な人間でいたい。



和田 淳先生

元氣ですか、あつというまに十年
がすぎてしまいました。初心に返
って今年もよろしくお願ひします



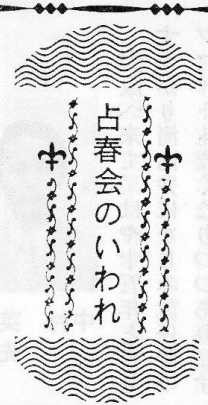
安藤美智子先生

新しい世界へと巣立たれ、何か
ととまどうこともあるでしょう
が、くじけずに頑張ってください。



松村 俊子先生

清友にきて八年にもなります。子
供がいますのでいつまで続けられ
るかかわりません。声援願ひします。

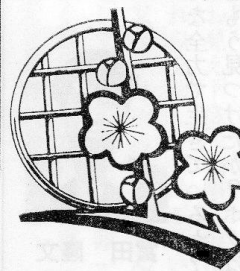


清友高校の同窓会を占春会とい
昭和二十年第一期卒業の春、初
代校長生田鹿之丞先生が、清友の
象徴である梅の花に因んで、水戸
烈公の梅花の詩より採って、占春
会と名づけられたのである。

弘道館賞梅花 徳川齊昭
弘道館中一樹梅
清香馥郁十分開
好文豈謂無威武
雪裡占春天下魁
なお記念に先生は次の詩をよまれ
た。

浅深紅白満庭梅
教養多年一様開
莫道園中才子少
百株皆是萬葩魁

多年の教養がここに実び一様
に美しく巣立っていく卒業生を、
春の魁として紅白とどりに花開
く梅花に擬え、祝福せられたの
である。



富田校長先生

「思わぬ訪れと通路考」

早春思いがけず、家に鶯が訪れました。まだ幼いのか、ホーケキヨといえないが、ケキヨケキヨと繰り返して三十分ばかり。家の者もテレビかラジオではないかと疑ったが、まさに生垣にとまっていた鶯を見て、ためいきが出ました。春だナア。しかも、この都会の只中と思つた山本に昔ながらのウグイスとは。それから六日つづきま

した。(雪の日はさすがにこなかったが) 皆さまからの消息はウグイスのたより、河合のぶ子はうぐいすの使者とね。この頃浪人が板についてね。ぶらりぶらり。中村平三郎氏夫妻で四国八十八カ所参りしたとのこと。河内飛鳥は辿つたが、まだ遍路も序の目かなー(西国四国まだ)。同行二人の遍路にあこがれている近況です。

581八尾市山本町三一―二

奥村 義雄先生

富山で元気にすごしています。

富山市は人口三十万たらずの地方都市ですが、政治・経済・社会・文化のいろいろな面で北陸地方の一つの中心都市であることや、大阪から特急でちょうど四時間の距離で基本的には京都・大阪の文化圏内にあること、また戦災にあつてその後京都にならつて(らしい)都市計画をたてて復興したところなどから、一般に思われている

よりもずっと近代な都市であるように思っています。

富山大学では、組織論を中心に自分の研究をし、そして学生とは演習や講義の場で、産業社会学や都市化・住民運動・住民意識などを勉強しています。いまだ若さのせい、いろいろな誘惑にかられることもないことはないようです。しかし研究条件に比較的恵まれて

いることもあつて、研究に専念しているというのがたてまえです。晴れた日には研究室の窓から立山連峰が見えます。今年とはとくに三十八年の豪雪以来の大雪で少々閉口しましたが、富山も住めば都の心境で新学期の準備にかかつているところ、富山湾の特産だといわれるバイ貝や漁れはじめたホタルイカで一杯やることも楽しみ

930富山市長江四七番三

合同長江宿舎三の三五号

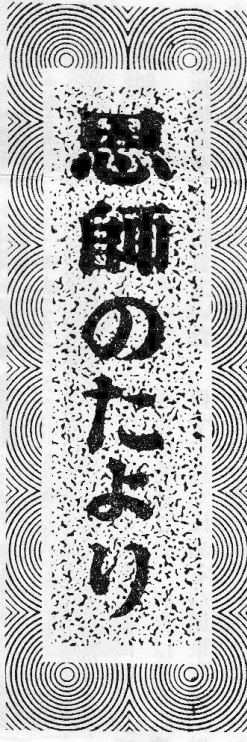
櫻根千代子先生

春寒去り難く陽春のかがやきも

漸くと思われる昨今ですが、桜は既に満開で私たちの目を心を明るくたのませてくれます。清友の学窓から眺められたあの信貴生駒の山々、戦後のいたみつけられた私たちの心をいつも明るく送り迎えてくれたあの山々。今もかわらず清友に通われる皆さんに美しい自然のささやきをなげていること、学窓を去つて既に幾星霜、なつ

かしいお便りを頂くたびに聖職にありし自分の喜びがひしひしと感じられます。私も当年満七十二歳の年輪を重ねましたが至極元気で

す。思えば私の半生は聖職に生きてきました。残る余生をいささかでも社会奉仕に地域奉仕にと前向きな毎日です。恵まれた自分の健康に感謝しつつ生活の面でも、恩給のみに依存せず、子供たちにも甘えず、自分に出来る老後をと考



加藤 秋子先生

はじめて清友高校の門をくぐり

皆様方にお会いしたのは、三十二年の四月、今からもう二十年も前になります。育児の為、五年後に退職しましたが、その後主人の転勤で、東京(七年)宝塚(三年)愛媛県松山(二年)と転々と居るかえ、昨年より名古屋に来て居ります。

長女は今春高校に入学、一安心しましたが、又一二年後の転校のことを考えると頭の痛いことです。長男は中学一年生、名古屋でもトップクラスの公立中学校で、殆どの人が塾通いをする中、相変らずのんびりとすごし、先が思い

んで頑でています。結構たのしいです。皆さんよろしく。

544大阪市生野区勝山北四―一

十一

高平 好子先生

庭先の鈴らんがつぼみを横に抱きながら新芽が大分伸びて参りました。諸先生、占春会の皆様お元気でいらつしゃいますか。実は当方主人こと五十年の夏に突然脳血

たきりの状態です。その後一進一退にせずと点滴や注射をつづけたりしておりますので、私こと病人の看護や洗濯、食事の世話一切に毎日追われ、心身共に疲れ切っておりますが、今一度奇蹟をと念じ日夜祈り、出来るだけのこととはしなればと頑張っております。気持はまだまだ若いつもりですが早や還暦を迎え身体がぶくぶり閉口です。

まず健康であることが何よりも存じます。何卒皆様方お達者で御活躍下さいませよう祈り上げます。いつの日かのお目もじを楽しみに致しております。

634榎原市石原田町二二五―一二

武田 和先生

やられます。私自身は区内にある社会教育センターの講座にクビをつつこんだり(受講する方です)近くに居る高校時代の友人と旧交をあたためたり、娘や息子の友人のお母さん達との交流等、結構忙しくすごして居ります。同じ県内の成田洋子様(37年卒、旧姓岡田様)とお会いしようと話し合いつつ、まだ果せないでいますが、昨秋柏木順子様(旧姓増田様)がお立ち寄り下さりうれしく存じました。皆様もお近くにおいでの際には是非お立ち寄り下さいませ。皆様方の御健康を心よりお祈りしております。

464名古屋市中千種区川崎町一―二

桜の花もほとんど散ってしまいい、チューリップの赤黄が目につかです。夕陽丘高に転勤してから早一年が過ぎ、新一年生の担任をもつことになりました。たくさん書類の整理などにてんてこまいで、清友で担任をし始めたときもこんなに忙しかったかしらと思っております。二回目の担任だから以前の経験を生かしてと思っておりますが、さてどうなることですやらー。いまだに電話をかけて「清友の武田です」と言いかけたら「清友高武田」と書きまちがったりして、われながらおかしくなるときがあります。

565吹田市山田西四一六―一一

深沢三千男先生

四十一年三月離任後はや十一年経過、大学・短大の教員生活の多年の気苦労のせいとか、四十三歳で高血圧症と糖尿病の合併症に首ねっこをおさえられた感じで、もはや「余生」に入ったという意識です。学窓を離れてたった五年間で終ってしまった清友高校での高校教員生活をなつかしくふりかえるばかりです。そんな事情もからんで五十二年四月から県立神戸商科大学に移って、一般教養文学を教えて、私の人生に残された時間を消すことにしました。文学という「消閑」のわざに溺れ切った残生になると思います。

しかし一方武庫川女子大学在任中から始めてはや五年間続いている大阪教育大学の講師も継続して、四十二年四月一日エイプリル・フールに七歳違いの妻と本当に結婚。男の子ばかり三人生まれ、上から九歳、八歳、五歳とあります。女の子が欲しいばかりにこんなことになりましたが、今はもうあきらめています。妻はいまだに幼稚園の先生をつとめていて、私と違ってチャキチャキして跳んだりねたりが大好きで活発な、いつまでも子どもっぽい女性です。夏休みには河内長野の関西サイクル・スポーツセンターやP.L.プールで三人の子どもといっしょになつてはしゃいでいますから、お出かけになればめぐり合う

こともあろうかと思えます。それを老人のようにもの静かに見守っているのが私です。

584 富田林市錦ヶ丘町五一七七

松尾 正美先生

こちら埼玉に参りまして二年半漸く土地にもなれ住居の周辺ぐらゐは一人歩きするようになりまして。東京都内はまだまだ一つ一つたずねなければ乗物にものれません。家から東京駅、羽田飛行場への道筋だけは必要にせまられて覚えしました。

西沢先生、松本先生と萩に旅行したこと

関東における在住者の同窓会を持つたこと―高等西華に関して

卒業以来四十二年ぶりにクラス学友と熱海で楽しい時を持ったこと―高等西華に関して

清友卒業生の方の結婚式に二度よばれたこと

昨夏霧が峰でベトナム留学生、韓国のお坊ちゃんとの国際ゼミに一週間参加したこと

ぐらゐで、余り積極的な行動は一つ一つ、今のところ、読書にテレビ、とのあけくれです。がボツボツ何がやりたい、しなくてはの気運も又おこりかけております。

子供達の愛情に支えられた毎日他事ながら御休心下さいませ。

どうぞみなさん方には一そうお体お大切に、この上の御精進を祈り上げております

八のお目も

を楽しみに。これにて失礼します

354 埼玉県入間郡大井町亀久保一六〇

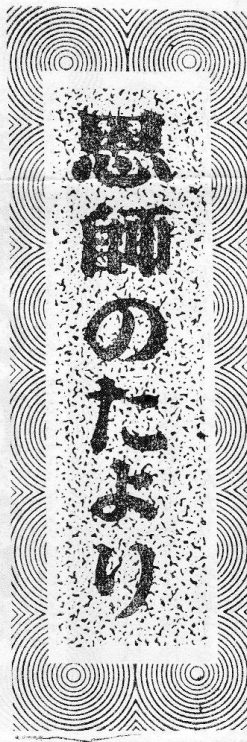
六〇

前 順子先生

南大阪線下市口からバスで三十分、下車して三、四十分山をのぼった、下市のチベット。下市は雨でもここは雪というようなどころです。四月上旬の今、梅がまだ盛りです。桜も一しよに咲いています。緑濃く、自然が昔のまま変わらず、ぜんまいをとりに来る人がこれから多くなります。

子供は、中学一年生(男)、小学四年生(男)、幼稚園(女)と少し楽になりました。義父満八十八歳、義母八十二歳共元気で、よほど環境がいいのだと思います。亭主の仕事の関係で、来客が多く、テンテコマイの日が多く、何もかも思うように進みませんが、したいことは一ぱいで、よみたい本も一ぱいです。気が向いたらお出かけ下さい。

638 奈良県吉野郡下市町広橋



山家鉄五郎先生

同窓生皆様益々御健勝賀上いたします。次に小生も満九十二歳、

日常の養生を充分いたしおかげにて健在いたしています。菊は栽培いたしません。体重五〇キロ、血

圧も最高一四〇、最少八〇、老人として歩行に杖を使用いたしています。ラジオ、テレビ等の健康の方法の実習をやっています。

442 豊川市為当町仲上二一

竹本正次様方

山口 英雄先生

48年3月に金剛山の眺望にひか

下さい。末筆ながら皆様の御活躍をお祈り申しております。

639-02 奈良県北葛城郡香芝町穴虫二四九二



一期生ろ組

日時 五十一年十一月八日

場所 地下鉄東三国井戸平

出席者 西沢先生以下十二名

私達のクラスは毎年一回順調に集っていますが、その時々都合

のよい人、悪い人。入れ替り乍ら、珍らしいお顔が見えた時は思

わず歓声があがります。今回は東京にお住まいの久保達子(木村)

さんが丁度お里帰りをしておられ、大阪駅への途中お寄り下さった

事、又何年振りかた梅沢(浅野)さん、岡田(佐海)さん。土井さ

んがお見え下さった事、幹事としてこれ以上嬉しい事はございませ

ん。又今年の中(木村)さんが幹事をして下さいます。是非一人で

も多くお集り下さい。幹事、矢野

(荒木) 永野(野中)

35年卒A組クラス会

日時五十年六月二十一日PM五時
場所大成閣(心斎橋) 会計旧松垣
一美出席者二十三名世話人旧坂本
道子旧上田繁代
十三年ぶりのクラス会で半数以上
の人は始めてのクラス会でしたの
で一応全員連絡しました。何名集
まるか心配だったのですが二十三
名もの参加者がありそれ迄の苦勞
もふつとびました。まず恩師であ
る西沢先生の御挨拶から始めまし
た。「教師でいて本当に良かった
と云われた時は思わず胸があつく
なりました。昔と変わぬ先生のお
姿お声には全く驚きました。全員
の家族写真(最後に先生に進呈ス
ル)を回し乍らおしゃべりがはず
みなつかしさと嬉しさをくしゃく
しゃの顔を写真にとりました。三
時間があつという間にすぎ、二年
に一度クラス会を開く事に決め八
時に開散しました。何かまだ話し
足りない顔をして……。尚当日日
時の都合でこれなかつた人達も
次回は是非にとお電話やおはがき
がかなりありました。次回はもつ
と素晴らしい同窓会になります様
に……。それまでお元気で。

41年卒E・F組

担任 金森、徳田

昨年二月待望のE F合同の同窓
会が生れました。参加人員三四
名、バイキングを楽しみ近況報告
に嬉し涙。思えば卒業十周年で
した。 幹事 E西 脇美美
F内間美也子

50年卒A組

五十二年五月五日、新阪急ホテ
ルで第二回クラス会を開催。校外
でやるのは初めてだったが、なご
やかにだべり合い、盛会裡に終わ
る。

幹事 岩永、江上、加藤他

50年卒E組

担任 安田圭造

五十二年十二月五日(日) 東大
阪市民会館で第二回目の同窓会を
開きました。参加者約三〇名、会
社のこと、恋人のことなど話し合
いました。結婚式の近いケイチ
ンが皆にひやかされていました。

幹事

51年卒D組

担任 遠藤光子

五十二年十二月二日(日)
PM五時三〇分〜七時三〇分
八尾さとし半にて。参加者一
五名。幹事、京谷多江子さん。第
一回だが、アルバイトで欠席の人
が多かつた。近況報告、会食。次
回幹事には柳井貴久子、湊恵美子
さんがえらばれた。近々結婚の話
も聞かれはなやかな会でした。

51年卒F組

担任 内田孝雄

昭和五十一年十一月十三日(土)
阿倍野区アポロビル内コンコ
ドただ飲んで食べる会。二十三
名。一般人と混席で、遠慮がちで
だめ。馬場(優)、八阪、松倉、
浅井四名が幹事。

52年卒A組

担任 中川道広

卒業式から二日後二月二十八
日、木村さんらが中心に、クラス
会がありました。人数は三〇名位

でしたが、在校中にも見られなか
った芸が続出、笑いと拍手の絶え
間がありませんでした。

52年卒C組

担任 大村健三

文集を渡すために三月二十七日
に開きました参加者二三名と低
調で残念でした。私服で化粧をし
ている卒業生をみてかわいとか
きれいになったと思うのは担任バ
カでしょうか。

偲び草

友を悼む

23年卒 今出 哲子

人生非痛の事なんぞ限りがあり
ましよう。昨年十二月二十四日、
午後一時過ぎケタタましい電話の
音に驚いた。向井重世さんが、注
射のショックにて他界されたとの
事。耳も目もくらみ、唯呆然涙の
み、一週間前に電話で将来の事等
も話し合い、年内には必ず会おう
と約束をしていた、私もその頃病
気勝ちであったがその日を楽しみ
に、していた。とても元気な様子
だったのに、こんな事になるのな
ら、すぐにでも出かけて行けばよ
かったと、悔まれてなりません。

亡き友を偲んで

33年卒 久保 順子

昨年同窓会に一人の友が亡
くなったのを知らされた。山森輝
三子さん「ガン」だったという。少
人数の私達のクラスよりまた一人
若い生命が消えた。子育てにおわ
れている年代、毎年開けなかつた
クラス会、たまの連絡でこんな
悲しい知らせをうけるなんて。
皆の気持ちも同じでありました。
よう。早速四月二十九日に西沢先
生と御一緒にお悔みにまいりまし
た。親同士が知り合だった為、小

学生の頃二、三度母と一緒に山森
さんの所に細い石橋をおつかなび
つくりで渡つたり山道を小一時間
も登つて行つた思い出、高校の時
は坂口さんと彼女の家よりの帰り
道で何度も蛇にでくわしながら山
を越えて恩智駅に辿り着いた記憶
がまざまざと思い出されます。こ
の様に遠い所から三年間休まずに
通学していた彼女、お母様より病
魔と闘いながら周囲の人々に心配
をかけないようにと気を配ってい
た彼女、死を予感していたのでし
よう。子供達に楽しい思い出を
病める身体をおして家族旅行をさ
れたそうです。記念写真をみせて
いただきましたが、そこには女学
生時代とはすっかり変つた大人の
彼女の顔がありました。死を目的
あたりして幼い二人の男の子を残
して行く彼女のつらさはいかばか
りでありました。最後迄
愚痴をこぼさなかつたそう。私
には計り知れない彼女の強さ、母
さを痛感せずにはおられません。
彼女が最後迄案じていたのは子供
のことだったのでしよう。どうぞ二
人の男の子が力強くすこやかに育
つてほしいと願わずにはおれませ
ん。と共に彼女の御冥福をお祈り
いたします。



さわやかな魅力の 芹洋子さん

澄んだ歌声で『四季の歌』、赤い花白い花”を歌っている芹洋子さんは、昭和四十二年の本校卒業生です。洋子さんは小学、中学校時代から歌っていました。高校時代は勉強に専念、卒業後ずっと歌いつづけ、四七年ブルガリア音楽祭三位に入賞。その後、さわやかな歌を歌いつづけています。



娘・芹洋子を語る

昭和四十四年三月、卒業証書を片手に念願の歌の勉強をしたく東京へ一人旅立ちました。私は別れに際して『洋子ノお前の願う道はとてもしきびしくむつかしい世界と聞いています。最善を尽くしても運がなければ駄目だ』と病弱の母と別れ自分の宿望を果したいと願うには可成りの覚悟が必要でした。どんな苦しい事があっても負けずに頑張りなさい。成功を祈ります。』あの日から早くも八星霜、此の間嫌な事もありました。

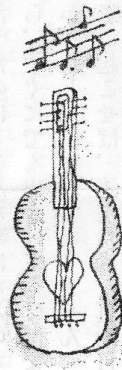
それは妻(母)の死です。そして嬉しい事もありました。日本代表歌手としてブルガリア世界音楽祭出場ノそれが入賞ノ昭和五十一年九月、四季の歌が大ヒット、漸くスターの座を確保してくれました。此の日を夢見つつ苦しい毎日の生活を自分一人で支えてきました。偶然にも四季の歌そのものも十年前に作られたまま見捨てられ今、やっと開花したのです。娘は此の八年間を振り返ってすぐ涙をこぼします。『正直いって苦しかったなア』現在私は子供達の願

いもあって再婚いたしました。洋子は今二人の母の両腕にすがって毎日きびしい芸能の世界で、大衆の目を楽しませるだけの軽々しい歌手ではなくて、心ある人の耳を楽しませる本格的な歌手(私の念願)をめざして自分を磨いているのです。

あの四季の歌の中に出て来る『根雪をとかず大地の様な……』その根雪(芹洋子)が赤い花白い花の咲く春を迎えて漸く溶け始め、清い地下水となって、永い歲月、山を砕き岩を磨きつつ谷川となって大海へ。此の地下水(善利洋子)を汲みとって飲んでくれる素晴らしい男性の現れる日を楽しみにしてあります。

同窓生皆々様の温い御声援を伏してお願ひ申しあげます。皆々様の御多幸をお祈りしつつペンをおきます。

四月十五日 善利喜義



友人・洋子さんを語る

彼女との付き合ひも、振り返ってみると、本当に長いものになりました。高一時代に、席を並べて

以来、卒業後も、何かと連絡をしようとして、ずつと変わらなく仲の良なお友達でいます。彼女の高校時代を思い浮かべた時、やはり、彼女は模範生であったというイメージが強いのです。例えば、皆さんが、はやりの折り方でソックスを履いていた時でも、ちゃんと三つ折にして履いていた彼女、予習復習をちゃんとやっていた、きれいに整理されていたノートも、いやがらずに見せてくれた親切さは、本当に忘れられません。彼女は、何事においても、天性に持つ才能にプラスして、自分自身のペー

口調は、親しみとやさしさを持つて語りかけ、すべての観客を魅了するのです。タレントさんは、外と内とは違うと良く言われますが、彼女の場合は、テレビの画面に映るそのものが、彼女の素顔であり、逢つていても、さりげなく、色々と気を使つて下さる繊細さは、学生時代と少しも変わっていません。

私がある上京の折に、彼女のマンションに泊めてもらった時の事です。私が、仕事の疲れているはずなのに、私が眠っている六、七時間の間に、夜の犬の散歩、朝食の仕度、朝の犬の散歩を終えて、私が目を醒まし

食に、水ギョーザなどを作つてくれて、テーブルに並べてくれたのです。その時は、彼女の睡眠時間の少なさと、タフでいられるスタミナ料理の腕前と、それ以上に、彼女の思いやりの深さに、しみじみと感謝したものでした。何しろ彼女から学ぶ点は、数多くありますが、中でも仕事に打ち込む時の真剣さは、机に向かって毎日を甘んじて生きている私には、はずかしい思いがし、本当にこれこそ、プロの姿であると感心させられる事があります。近頃は彼女と、以前ほど、再々逢う事が出来ませんが、長い間逢えなくても、少しも変わらなず、友情が暖たまられる、彼女とは、これからも、ずつと仲の良い友達でいられると思います。

●をまとめたりし子ら母となり夫と子の写真もちり今日クラス会に見せむと思ふ心うれしも
●夫と子の写真もちり教師われ
●をまとめたりし子ら母となり十五年の歳月の流れしみて思ふも
西沢 小枝

クラス会に

◎昨年会報が発送出来なかつた為多数の方が、その理由を電話で問い合せてこられたり、励ましのお葉書やら、私達会報作成にたずさわる者一同、あらためて会報のもつ使命の重大さを痛感いたしました。八号は皆様の期待にこたえて、母校の先生方の写真・恩師の先生方のご消息等皆様が一番知りたいと思つておられる頁を増やしました。

◎ブラウン管に登場する卒業生に絶大なる応援と拍手を！

◎住所変更は必ず学校事務局迄。

◎各学年のクラス会のお便りを、忘れずにご連絡下さい。

◎会員相互の慶弔事があれば、お知らせ下さい。

以上

編集後記

